

宍粟市一宮町ゼロエミッションタウン(I-ZET)研究会

地球の未来を耕す人たち

- ・「兵庫県森のゼロエミッション構想」モデル地域第一号の宍粟市一宮町を基点にして、「土の人」(土着の人)と「風の人」(外来の人)と一緒に考え、学び合うなかで、持続可能なコミュニティの条件を明らかにする。
- ・研究会は無資格、無条件で、誰でも参加できる。参加費は原則として無料。
- ・地域のイメージを描く時点を、近時点とせずに、敢えて長期的な2050年とし、<2050年の一宮町>を共有のイメージとすることを、研究会の目的とした。
- ・平成 17・18 年は「風の人編」とし、「風の人」のうち、未来への希望の眼差しとこだわりを持ち続けている特異な人 = 地球の未来を耕す人たちをゲストスピーカーに、研究会を開催する。

- 第1回(1月29日) 大森昌也氏 (朝来市和田山町在住)
「自給自足の縄文百姓こそが地球の未来を耕す」
- 第2回(2月26日) 平賀 緑氏 (前丹波市市島町、現京都府京丹波町在住)
「地域の自立を促す適正技術～手づくりバイオディーゼル燃料」
- 第3回(3月19日) 池田幸恵氏 (多可町八千代区在住)
「納豆道と百姓と田園空間博物館」
- 第4回(5月14日) 吉積巳貴氏 (西宮市在住)
「海外のエコビレッジの取組み～欧州を中心にして」
- 第5回(7月16日) 橋本慎司氏 (丹波市市島町在住)
「有機農業を通じた持続可能社会への道」
- 第6回(10月1日) 杉原利治氏 (岐阜県瑞穂市在住)
「持続可能な社会への道～アーミッシュから現代社会を考える」
- 第7回(11月26日) ANBUMOZHI 氏 (神戸市在住)
「アジアの新しい風-インドPURAの取組み」
- 第8回(2月4日) 長田正之氏 (岡山県真庭市在住)
「50年先にも子供の声がする地域を」
- 第9回(4月15日) 畑中直樹氏 (西宮市在住)
「環境の志を求める旅から」

2005.1 ~ 2006.4